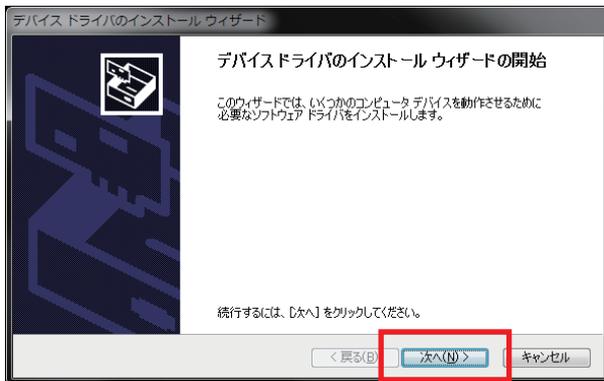


# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

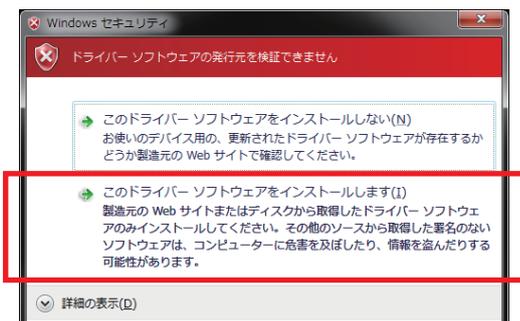
- ① 次の「USB 仮想 COM モード」バーコードを読取ってください。初めて MS250 を仮想 COM に変更したときには、仮想 COM ドライバのインストールが必要です。OS によってはドライバの自動インストールに失敗しますが、無視して次の手順に進んでください。



- ② ダウンロードした「USB 仮想 COM ドライバ .zip」を PC の任意のフォルダに解凍し展開してください。
- ③ ステップ②で解凍したフォルダ内のドライバインストーラーを実行します。32bit OS であれば、「32bit\_Driver」フォルダ内の「dpinst\_x86.exe」を、64bit OS であれば、「64bit\_Driver」フォルダ内の「dpinst\_amd64.exe」を、それぞれダブルクリックしてください。
- ④ デバイスドライバのインストールウィザードが開始されますので「次へ」をクリックしてください。

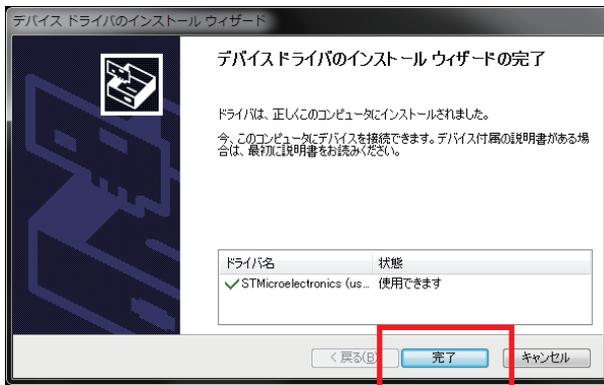


- ⑤ セキュリティ警告が表示されますので「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックしてください。



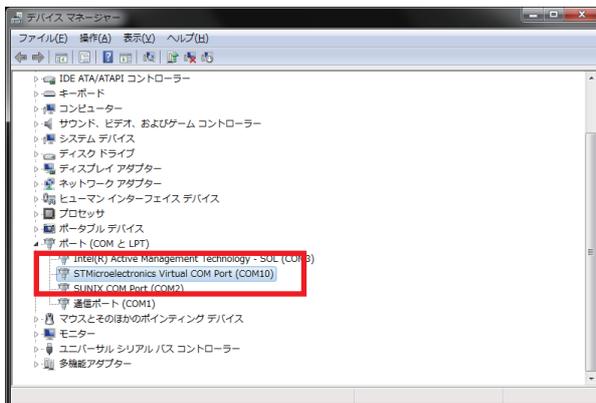
# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

- ⑥ ドライバのインストールが完了したら「完了」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



- ⑦ デバイスマネージャーを実行します。デバイスマネージャーを実行するには、「コントロールパネル▶ハードウェアとサウンド▶デバイスマネージャー」とクリックするか、キーボードの「+R」キーを押して「ファイル名を指定して実行」を表示して、名前に「devmgmt.msc」と入力し実行してください。

- ⑧ 「ポート (COM と LPT)」に表示されている「STMicroelectronics Virtual COM Port」右の COM 番号を確認してください。本書では、例図のとおり COM10 として進めていますが、ご使用の環境によって異なりますので適宜読み替えてください。



- ⑨ シリアル通信可能なアプリケーションをお持ちでない方は巻末の送付依頼書にて RSWedge を申請してください。申請後送付された「RSWedge\_Setup.zip」を PC の任意のフォルダに解凍し展開してください。

他のシリアル通信アプリケーションをご使用予定の場合は、以降の手順は必要ありません。

- ⑩ ステップ⑨で解凍したフォルダ内の「SetUp\_FR.EXE」を実行してください。

# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

- ⑪ インストールウィザードが開始されますので指示に従って RSWedge のインストールを行ってください。
- ⑫ デスクトップに作成されている  をダブルクリックして RSWedge を実行してください。デスクトップにショートカットアイコンが作成されていない場合は、インストールフォルダの「RSWedge.exe」を実行してください。

- ⑬ 通信設定のを次のように設定してください。

ポート = ステップ⑧で確認した COM 番号 (例では本書では COM10)

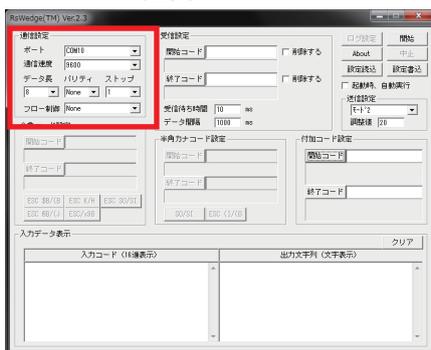
通信速度 = 9600

データ長 = 8

パリティ = None

ストップ = 1

フロー制御 = None

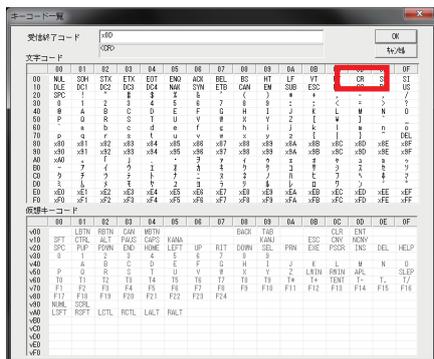


- ⑭ 受信設定の「終了コード」をクリックしてください。

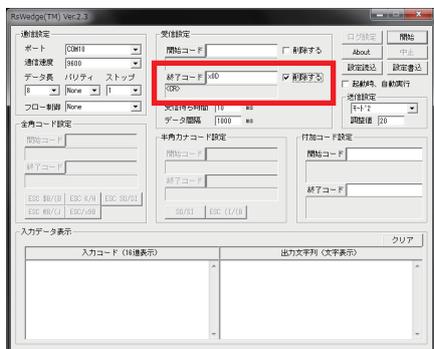


# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

- ⑮ 文字コード表の中の「CR」をダブルクリックしてから「OK」をクリックしてください。



- ⑯ 受信設定の終了コードのテキストボックスに「x0D」、その下に「<CR>」と表示されていることを確認し、右の「削除する」チェックボックスにチェックを入れてください。



- ⑰ 受信設定の受信待ち時間を「10」ms に設定してください。

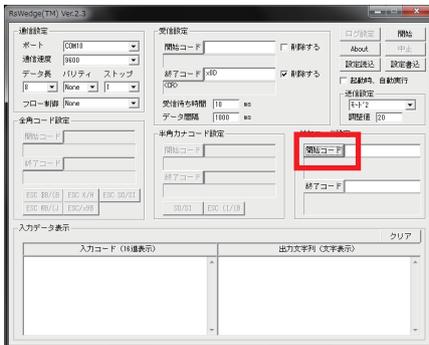


- ⑱ 受信設定のデータ間隔を「1000」ms に設定してください。

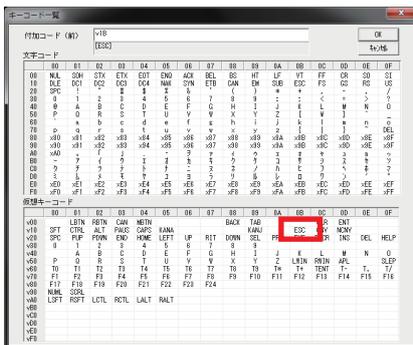


# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

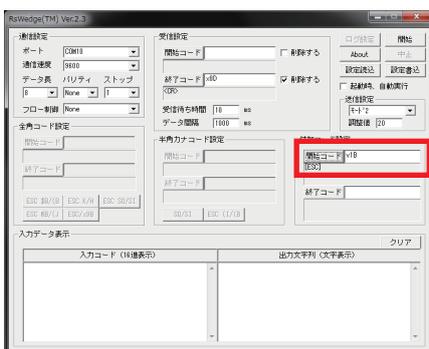
- ⑱ 付加コード設定の「開始コード」を設定すると、バーコードデータの先頭に文字を付加して出力することができます。本書では、例として「ESC」を付加するよう設定します。この設定を使用しない場合はステップ⑲～㉑をスキップしてください。付加コード設定の「開始コード」をクリックしてください。



- ㉐ 仮想キーコード表の「ESC」をダブルクリックしてから「OK」をクリックしてください。



- ㉑ 付加コード設定の開始コードのテキストボックスに「v1B」、その下に「[ESC]」と表示されていることを確認してください。

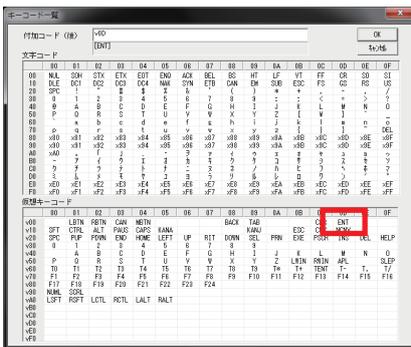


# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

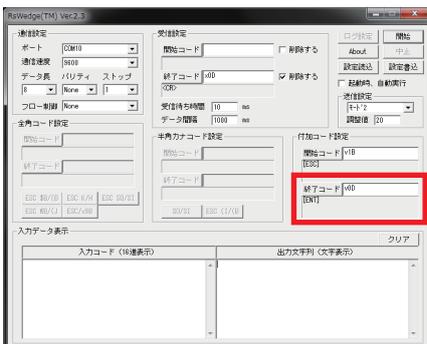
- ② 付加コード設定の「終了コード」を設定すると、バーコードデータの末尾に文字を付加して出力することができます。本書では、例として「ENTER」を付加するよう設定します。この設定を使用しない場合は、ステップ②～④をスキップしてください。付加コード設定の「終了コード」をクリックしてください。



- ③ 仮想キーコード表の「ENT」をダブルクリックしてから「OK」をクリックしてください。



- ④ 付加コード設定の終了コードのテキストボックスに「vOD」、その下に「[ENT]」と表示されていることを確認してください。

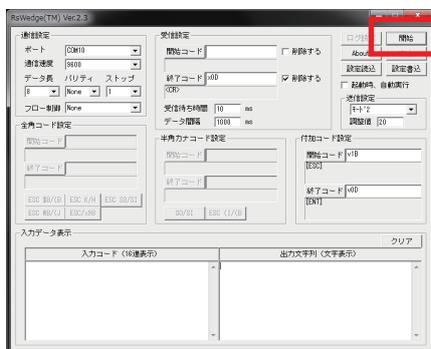


# MS250 仮想 COM 接続と RSWedge の設定

- ⑳ 送信設定に「モード 2」、調整値「20」を設定してください。



- ㉑ 全ての設定が完了したら「開始」をクリックしてください。



- ㉒ 正常に動作すると「中止」以外の全てがグレイアウトします。

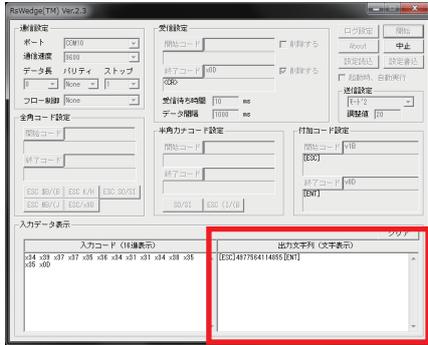


「指定されたポートのオープンに失敗しました」と表示される場合は、通信設定のポートに設定した COM 番号が正しいかデバイスマネージャーを確認してください。



# MS250 仮想 COM 接続と RSWedg の設定

- ⑳ RSWedge が最前面にある状態でバーコードを読取ってテストしてください。出力文字列に読取ったデータと開始コード・終了コードで設定したキーが表示されます。



- ㉑ 最小化ボタンを押して RSWedge を最小化してください。RSWedge がタスクバーに常駐している間は、最前面のアプリケーションに対してバーコードデータが出力されます。



タスクバーの  をダブルクリックすることで設定画面を再表示させることができます。



RSWedge は、多重起動が可能です。同時に同じ COM ポートを開始することはできません。RSWedge 開始後に「指定されたポートのオープンに失敗しました」と表示される場合は、既に RSWedge は実行し開始されていないか確認してください。



# RSWedge™ Unitech 版 送付依頼書

RSWedge をご希望の方は、必須項目をご記入頂きご返送ください。

**【Eメール添付・メディア送付 (CD-R)】 ← ご希望の送付方法を○で囲ってください**

※ お急ぎの場合はメールをお選び下さい。折り返し御連絡頂いたメールアドレスへお送りします

貴社名 (必須)

部署名

ご担当者名 (必須)

住所 (必須) 〒

電話番号 (必須)

FAX 番号

メールアドレス (必須)

ご購入店 (必須)

使用台数 (必須)

MS250-CUCL00-SG \_\_\_\_\_ 台      MS250-CUCB00-DG \_\_\_\_\_ 台

シリアルナンバー記載欄 (必須)

※ RSWedge と一緒に使用する MS250 のシリアルナンバーをご記入ください。

※ 台数が 10 台を超える場合は、そのうち 10 台分のみご記載ください。

①	⑥
②	⑦
③	⑧
④	⑨
⑤	⑩

ユニテック・ジャパン 株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-5-19 茅場町長岡ビル8F

TEL 03-3523-2766 (代)      FAX 03-3523-3766

info@jp.ute.com